

法学研究科 2016年度 修士論文タイトル一覧

【公法学専攻】

NO.	論文題名
1	行為後の第三者の介在事例と相当因果関係説に関する考察
2	捜査における取調べの問題とその適正化
3	海上阻止活動における旗国主義原則 —拡散に対する安全保障構想(PSI)と奴隷貿易における法形成過程に着目して—
4	同一構成要件内の方法の錯誤と故意の認定
5	中止犯における必要的減免事由の理論的根拠—結果が発生した場合の準用について—
6	正当防衛における防衛行為の相当性—複数行為が生じた場合の評価の問題について—
7	単なる毀棄・隠匿目的による占有奪取と窃盗の区別 —利用処分意思の具体的意義について—
8	自白の証拠排除の根拠について
9	窃盗累犯者に対する保護観察—処遇の充実のために—
10	刑事手続における被害者の立場と権利 —「事件の当事者」の立場からの主張と新たな権利拡充に向けて—
11	労働者の損害賠償責任制限法理についての—考察 —本質的な根拠および適用範囲について—
12	『失業なき労働移動』雇用政策と『出向先探索型』出向
13	合理的配慮の法概念—労働、教育及び日常生活における障害者の権利—
14	尊厳死における推定的意思—R・ドゥオーキンとP・シンガーの議論を参考にして—
15	アメリカにおける通信コモン・キャリアの義務の端緒
16	安全配慮義務の判例法上の展開と実定法化の意義

【民事法学専攻】

NO.	論文題名
1	環境損害の法的救済に関する研究—EU諸国の環境責任法制を手掛かりとして—
2	人の肖像等の有する顧客吸引力の独占的利用権に関する機能論的考察 —独占的利用権における利用の射程及びその譲渡性について—
3	親子会社間における子会社少数株主の保護に対する—考察 —英米仏における法理の検討を基礎として—
4	法人格否認の法理に関する考察—濫用的会社分割における債権者の保護を中心に—
5	差止め—事前予防型救済の必要性和相当性—
6	技術ライセンス契約と独占禁止法—標準技術ライセンス契約を中心として—